

この度はibanezギターをお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
全てのIbanez製品は、厳しい品質管理のもとに生産され、精密なセットアップを経て出荷されています。
お買い上げいただいた製品の機能を最大限に発揮させ、また永らくご愛用頂く為にもこの取扱説明書をよくお読みください。

弦の交換とマシンヘッド(チューナー)

音がこもった、ピッチが生じた、音程が合わなくなったなどの場合には、弦が劣化していますので新しい弦と交換してください。良い音や快適な演奏性のためには、品質のよいギター弦をお選びください。また、出荷時にダリガロ社製EXPシリースの弦が張ってある商品は、交換弦にも同じシリースの弦をご使用になることをお勧めします。

弦を張る前には折れ目やねじれなどがよくご確認ください。

弦は、このように折れる、音のびりつきやつまりの原因になる場合があります。

古い弦を新しいものに張り替える場合は、一本ずつ交換するとネックにかかる負担が少なくなることができます。異なるゲージに交換する場合は、楽器店の専門スタッフやリペアマンによるネックのトラスロッドの調整が必要なる場合があります。各弦はそれぞれ「Ibanez advantage bridge pins」によってブリッジを通してボディに留めています。ブリッジピンを抜き取る場合は、まず最初にマシンヘッドを用いて弦を十分に緩めてから、素手でもしくは市販されているブリッジピンを抜き工具（fig.1）などを使ってブリッジやブリッジピンにダメージを与えないように抜き取り、ブリッジピンと弦のホールエンドを取り出してください。新しく弦を取り付ける際には、弦のホールエンドが（fig.2）の位置に來ている事を確認してください。弦のストリングポストへの巻きつけは、ポストの上から下に向かって3回程度ストリングポストの周りに巻きつけて下さい。1、2弦の場合は、弦がストリングポストからすべて外れてしまわないように、（fig.3）のように弦の端を巻きつけて下さい。また、余った弦の端はニッパー等を使ってカットして下さい。マシンヘッドには注油の必要はありません。ブラストリパーを使ってボタン（つまみ）を取り付けているネジをまわすと、ボタンの回転のたさを若干変化させることができます。極端に緩めたり締めたりすると故障の原因になりますのでご注意ください。

ナイロン弦ギター製品の弦交換

ナイロン弦のブリッジへの取り付けは、まず初めにスロットに弦を通してから、（fig.4）のように巻きつけて行います。弦を巻きつける回数は、1弦と4弦で最高3回まで、それ以外の弦は2回までが目安となります。（fig.5）にあるように弦のストリングポストの穴に通してからストリングポストに巻きつけ、上から重ねて巻きつけて弦の端を締め付ける事によってしっかりと固定できます。

保管方法について

アコースティックギターは木を材料として多く使っています。木材は、温度、湿度が適切であれば長い期間安定していますが、極端な高温・低温、あるいは高温・低温の環境で使用する、伸び縮みや亀裂を起こし、木部が割れるなどの破損や音色の反り、ボディのトップの彫らみへみなどによって、演奏ができにくい状態になってしまつ場合があります。保管・使用に適切な湿度の範囲は摂氏15度から摂氏30度までの範囲です。湿度は40%から55%程度の範囲が適当です。冬季の暖房された室内は非常に乾燥して20%以下の湿度になることがあります。過剰な乾燥によって木部が破損する恐れがありますので、加湿器を使って湿度を40%以上に保った上で保管してください。加湿器を使う場合、蒸気などの水分がギター本体に直接からないようご注意ください。加湿器を使っても十分な湿度が得られない場合は、摂氏15度程度の若干寒い部屋を加湿して保管場所として使うことがお勧めします。湿度が低い方が同じ湿度を比較の簡単に得ることができます。冷えたギターを急に暖かい場所に持ち込むと、空気中の水分がギター表面に結露し、金属部品や弦の錆、木部の変形の原因になります。湿度の低い場所から暖かい部屋に持ち込む場合は、ギター全体をポリ袋などに包んで完全に密閉してから移動し、

感谢您购买Ibanez吉他。所有Ibanez产品都是在严格质量标准下生产，并在出厂前经过精心设定。 为了充分地发挥新乐器的最佳性能，并维持长期正常使用，请务必仔细阅读本说明书。

琴弦更換和調音器

若声音变得沉闷、出现打音或音准不再正确，表示应该更换琴弦了。为了保证良好的声音和理想的演奏特性，请选用质量较好的吉他琴弦。对于出厂时配有D'Addario EXP系列琴弦的乐器，建议更换时使用相同系列的D'Addario EXP系列琴弦。安装琴弦之前，请务必确认它们没有出现扭结或缠绕。否则可能会导致打音或音准不准。更换琴弦时，通过逐根更换琴弦的方式可将琴颈张力控制在最低水平。若更换为不同规格の琴弦，则可能需要请经销商或专业吉他技术人员调整琴颈上的支撑架。每根琴弦都穿过琴身并用“Ibanez Advantage™”琴桥销”固定。若要拆卸琴桥销，必须首先旋转弦准充分松开琴弦，然后用手指或市售琴桥销拆卸工具(图1)仔细拆卸琴桥销，当心不要损坏或弯曲琴桥销，最后拉出旧琴弦的球端。当安装新琴弦时，请务必让琴弦的小球端位于图2所示的正确位置。从上到下将琴弦在琴弦柱上缠绕3圈左右。对于琴弦1和2，请按照图3所示缠绕琴弦，以避免琴弦从柱上滑开。用钢丝钳剪掉琴弦多余的长度部分。弦准不需要润滑。可用十字(+)螺丝刀转动调音器的螺丝来微调张力。但是太紧或太松都会损坏调音器。

尼龙弦乐器的琴弦更换

若要将某琴弦安装到尼龙弦吉他的琴桥上，请将琴弦穿过琴弦槽，然后如图4进行固定。缠绕琴弦14小时不得超过2圈，其它琴弦不得超过2圈。

为了将琴弦固定在弦准柱上，请将琴弦端部如图5所示穿入弦准柱的孔内，然后将琴弦缠绕到弦准柱上，使缠绕的琴弦从上面开始相互重迭，紧紧压住琴弦的端部。

吉他保养

箱琴的绝大部分都是木材。若保持适当的温度和湿度，木材在很长时间内都可保持稳定，但若在极高或极低温度、或者极高或极低湿度环境中使用或存放，也可能膨胀或收缩。这可能会导致开裂或其它损坏，并可能导致琴颈翘曲、琴身膨胀或变形，并最终导致乐器无法正常演奏。理想的存放和使用温度是15至30摄氏度(60至85华氏度)。理想的湿度为40%至55%。冬天供暖的室内可能变得异常干燥，甚至达到20%以下的湿度水平。极度干燥条件可能会导致乐器木质部分的损坏，为了安全起见，请用加湿器将湿度增加到40%以上。当使用加湿器时，请勿让蒸汽或湿气直接与吉他他身接触。即使使用加湿器，若仍然无法达到足够的湿度水平，建议对存放约为15摄氏度(60华氏度)的较干燥房间进行加湿，并用作存放吉他的场所。在较低的温度条件下容易达到指定的湿度。若长时间将较冷的吉他带入温暖的地方，空气中的水蒸汽可能会凝结在吉他表面，导致金属紧固件和琴弦生锈，并引起木质部分变形。将吉他从较冷的地方移到较温暖的房间时，应使用塑料袋完全密封整个乐器，等吉他温度升高到与室温一样后再从塑料袋中取出。

请注意夏天的高温。让吉他长时间暴露于高温环境(如停在阳光下的车内)可能会引起翘曲或其它非木质部分如塑料部件的损坏，特别是在前置放大器外壳、内部电路或表面加工材料。请注意若暴露于阳光下，表面特别容易引起颜色的变化。在高温期间如雨季，吉他的木质部分很容易吸收水分，引起膨胀或变形。请在存放吉他的场所用除湿器将湿度保持在适当的水平。

吉他盒或吉他袋是保护吉他免受冲击和短期异常温度和湿度影响的有效方法。但是若持续24小时以上，它们也不能提供任何保护。对于长期存放，必须为乐器保持合适的存放环境。

ギターが室温と同じ程度に温まったことを確認して袋から出してください。

夏季は高温にご注意ください。直射日光の当たった場所、木部の中に長時間放置するなど特に高温にさらされる場合、木部以外の樹脂部品、特にブリッジのクレースや内部の回路、また塗装に使われている樹脂などが変形、破損・変質することがあります。特に塗装面は直射日光で変色することありますのでご注意ください。

雨の多い時期など湿度が高い場合も、木部が湿気を吸い込んで変形の原因になります。空調を使用して適切な湿度の場所に保管してください。

なお、ギターケース、バッグなどは、衝撃に対する保護や、短い時間の温度・湿度の異常からの保護には非常に有効ですが、24時間以上の場合は上記のような温度・湿度の異常に対してはほとんど効果がありません。長期間の保管には、保管場所の環境を適切に保つようご注意ください。

クリーニング

お買い上げいただいたギターは、適切なお手入れによって長い期間安心してお使いいただけます。湿気、汗、手の油（皮脂）等は弦や金属パーツ部分に付着すると錆や腐食を引き起こします。演奏後はできるだけ早くギター用クロスでふき取ってください。クロス仕上りのギターの塗装面は、ギター専用のポリッシュを付けたギター用クロスや、柔らかい綿の布等を使って軽力な布拭き上げてください。ポリエスチル製の布等は塗装面に傷をつける場合があります。また、シンナー、アルコールなどの溶剤を含んだ洗剤あるいはワックスなどを使うと塗装面に変質することがあります。塗装面の汚れがひどい場合は、十分に水で薄めた中性洗剤をその細編みの布を良く絞って汚れをふき取ってください。その後、乾いたクロスを使用して水分を完全にふき取ってください。この作業をおこなう場合は、乾いた布の短い時間で行い、ギターに塗装されていない部分には、絶対に水がつかないようにご注意ください。もし水が木部に触れると水分がよみによって木部が変形する場合があります。

ネック調整

ネックの調整は専門的な技術や工具が必要となりますので、楽器店の専門スタッフやリペアマンによる調整をお薦めします。ネックが正しい状態かどうかは次のようにして確認してください。まず、1フレットにカポタストを取り付けます。次に、ネックとボディのジョイント部のフレットで弦を押さえます。この状態で、フレットのフレット上と弦の間を測ったときに、0.2mm～0.5mmの範囲内であれば、ネックの状態に大きな異常はありません。（fig.6）この隙間が大きい場合はネックの順反りが大きく、ネック中央部分における高さすぎる弦高、イントネーションのずれ、演奏性の悪化等の原因になります。この隙間が全く無くても、音のびりつきや音のつまりがある場合は調整が必要です。

サドル調整

ネックの状態に問題がないにもかかわらず、弦高が高すぎる、あるいは低すぎる場合にはサドル部分の調整が必要なる場合があります。サドルの調整はネックと同じく専門的な技術、工具が必要となりますので、楽器店の専門スタッフやリペアマンによる調整をお薦めします。特にアコースティックエレクトリックタイプの商品で、サドルの下にピックアップが組み込んであるものに関しては特別の注意が必要です。このような商品ではサドルの高さが低すぎても高すぎても音質に大きな影響がでる場合があります。ご自分では調整ならぬようにお願いいたします。

清潔

适当的清洁是长年维持吉他良好状态的重要方法。残留在琴弦或金属部件上的湿气、汗水和指油(指纹)可能会导致生锈或腐蚀。演奏后请用特制的吉他擦布及时擦拭带抛光面的吉他应使用专用的吉他擦布和打磨膏或使用柔軟的棉布轻轻擦拭。聚酯纤维布可能会划伤漆面。漆面可能会被包含稀溶剂或酒精的清洁剂或蜡损坏。若漆面脏得很厉害，请将棉布蘸用水稀释的洗涤剂，拧干后再擦拭。然后使用干布完全擦干琴身。应在尽量短的时间内完成这一过程，并当心不让任何水分接触吉它上没有油漆的部分。若没有油漆的部分接触到水，可能会吸收水分并产生变形。

琴颈调节

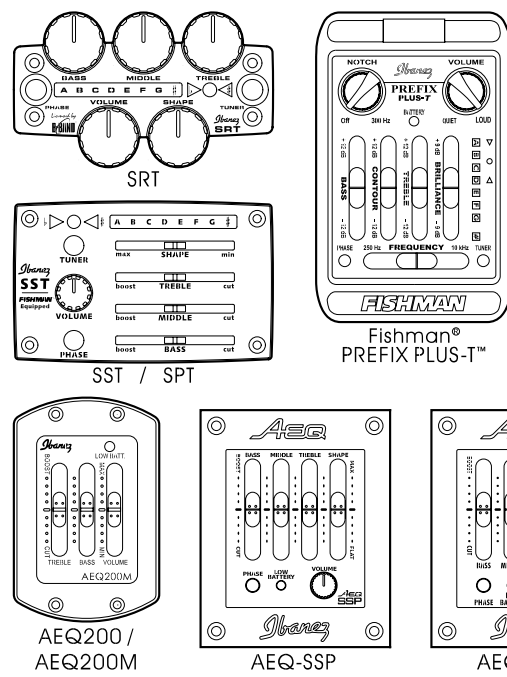
琴颈调节需要专业技术和工具，最好请经销商的修理专业人员或专家进行修理。以下将说明如何检查乐器琴颈是否正确调整。首先在第一音品处安装弦枕。然后按弦紧接与琴身交接处的琴弦。在这种状态，在第七音品与琴颈之间应该有0.2mm－0.5mm的间隙。若该间隙正确，表示琴颈调节没有大的问题(图6)。若该间隙太大，琴颈将过弯弯曲；这将导致琴颈中央的演奏部位太高，影响音准和手感。即使完全没有间隙，若发现有音品嗡嗡声或音准不稳，也属正常现象。若的确遇到这种现象，表示琴颈需要调节。

琴马调节

如果在正确调节琴颈后演奏部位仍然太高或太低，可能需要调节琴马。相对于琴颈，调节琴马需要专业技术和工具，最好请经销商的修理专业人员或专家进行。

特别是对于电声吉他，当在琴马下面装有传感器时更要特别小心。对于这种型号，若琴马太高或太低，声音会受到很大的影响。请不要擅自进行这类调节。

Preamp



AEQ200 / AEQ200M

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

AEQ-QSSP

Réglaages principaux

VOLUME

Pour régler le gain général du préamplificateur.

TREBLE

Pour régler l'amplification/atténuation des fréquences aiguës.

MIDDLE

Pour régler l'amplification/atténuation des fréquences médium.

BASS

Pour régler l'amplification/atténuation des fréquences graves.

Fonctions spéciales

SHAPE (SST, SRT, SPT, AEQ-SSP)
Contrôler le contour sonore de l'instrument. Le contrôle du Contour ajuste simultanément les niveaux de fréquence aiguës, basses et médium en les limitant selon des intervalles pré-déterminés. Quand le curseur est sur Flat, la sonorité n'a pas été modifiée.

PHASE (SST, SRT, B-Band® A5™, Fishman® PREFIX PLUS-T™, SPT, AEQ-SSP, AEQ3-MX)

Permet d'inverser la phase afin de diminuer l'effet Larsen.

LOW BATTERY (B-Band® A5™, Fishman® PREFIX PLUS-T™, AEQ-SSP, AEQ3-MX)

Ce voyant clignote lorsque le niveau de la pile devient trop faible.

BATTERY & B-CH (AEQ-201, AEQ-303, AEQ-45)

Ce bouton sert à tester la tension de la pile. Si le voyant LED ne s'allume pas, la pile doit être remplacée.

CONTOUR (Fishman® PREFIX PLUS-T™)

Pour régler l'amplification/atténuation appliquée à la FRÉQUENCE de contour sélectionnée.

FREQUENCY (Fishman® PREFIX PLUS-T™)

Pour déterminer la bande de fréquence amplifiée/atténuée par la commande de niveau de CONTOUR.

PRE (B-Band® A5™)/BRILLIANCE (Fishman® PREFIX PLUS-T™)

Pour régler l'amplification/atténuation de l'effet de réverbération.

N.FRE (B-Band® A5™)/NOTCH (Fishman® PREFIX PLUS-T™)

Permet de sélectionner les fréquences indésirables afin d'éliminer l'effet Larsen.

Mandos básicos

VOLUME

Controla la ganancia total del preamplificador.

TREBLE

Refuerza/recorta las frecuencias altas.

MIDDLE

Refuerza/recorta las frecuencias medias.

BASS

Refuerza/recorta las frecuencias bajas.

Funciones especiales

SHAPE (SST, SRT, SPT, AEQ-SSP)

Controla la forma tonal del instrumento. El control Shape ajusta simultáneamente el refuerzo y el recorte de las frecuencias altas, bajas y medias en intervalos predeterminados. Cuando el potenciómetro se encuentra en la posición 0 no se produce ningún efecto sobre el tono.

PHASE (SST, SRT, B-Band® A5™, Fishman® PREFIX PLUS-T™, SPT, AEQ-SSP, AEQ3-MX)

Invierte la fase para reducir el acoplamiento.

LOW BATTERY (B-Band® A5™, Fishman® PREFIX PLUS-T™, AEQ-SSP, AEQ3-MX)

Cuando la energía de la batería disminuye por debajo de los niveles óptimos, este indicador parpadeara.

BATTERY & B-CH (AEQ-45, AEQ-303, AEQ-201)

Al pulsar este botón se comprueba el voltaje de la batería. Si el indicador LED no se enciende, se debe cambiar la batería.

CONTOUR (Fishman® PREFIX PLUS-T™)

Controla el refuerzo/recorte aplicado a la FRECUENCIA de contorno seleccionada.

FREQUENCY (Fishman® PREFIX PLUS-T™)

Determina la banda de frecuencias que se refuerza/recorta mediante el control de nivel de CONTOUR.

PRE (B-Band® A5™)/BRILLIANCE (Fishman® PREFIX PLUS-T™)

Controla el refuerzo/recorte del estilo resonante.

N.F